

(仮称)小樽市総合戦略(素案) ~OTARU PRIDE~ 【概要版】

将来の都市像

訪れる人を魅了し、
暮らす人には優しい、
市民幸福度の高いまち

人口動向の分析から導出される主な課題

転出超過の約8割は生産年齢人口(15~64歳)であり、うち20~29歳の年齢層が約5割であるなど、若年層の人口流出を抑制することが課題

市外転出者の約5割が札幌市であり、隣接する手稲区や西区への転出を抑制することが課題

交通の便の良さや商業施設・医療施設の充実に頼らない、札幌市とは異なる生活環境の良さをアピールできるかが課題

当市の昼夜間人口比率は100%を超えており、平成22年(2010)には2,098人の流入超過に陥っていることから、市外からの通勤・通学者を住まわせるかが課題

合計特殊出生率では、全国や北海道が回復傾向にある中で、当市においては平成23年(2011年)に再び減少、その後は横ばい傾向であることから、合計特殊出生率の改善が課題

小樽公共職業安定所管内の有効求人倍率は、札幌圏や北海道より高い水準であり、希望職種や労働条件などをいかに求職者に合致させるかが課題

基本目標

【基本目標Ⅰ】

子育て世代をはじめ、全ての居住者に優しい、生活利便性の向上

✓ 国の基本目標「地方への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に整合

対応する市の重点戦略①

『育て上げるチカラ』
安心して子育てできる環境をつくり、地域の教育力を向上させる

対応する市の重点戦略②

『住み続けるチカラ』
きめ細やかな住民サービスを行うことで、地元定着を促す

【基本目標Ⅱ】

小樽の強みを活かした産業振興と、新たな人の流れの創出

✓ 国の基本目標「地方における安定した雇用をつくる」、「地方への新しいひとの流れをつくる」に整合

対応する市の重点戦略③

『呼び込むチカラ』
小樽の魅力を国内外に発信し、ヒト・モノ・カネの流れを活発にする

基本目標Ⅰ・Ⅱの実現をサポート

【基本目標Ⅲ】

札幌圏や北しりべし・後志地域における、広域的な連携の推進

✓ 国の基本目標「時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」に整合
✓ 市の重点戦略①・②・③に対応

施策の方向性

(第1章 人口ビジョンより再掲)

① 子育てしやすい環境づくり

② 子育て世代が安心して働くことのできる環境づくり

③ 教育環境の向上と次世代の人づくり

④ 交通アクセスの改善等による住みよいまちづくり

⑤ 健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり

⑥ 安心して生活できる医療・介護のネットワークづくり

⑦ 強みを活かした産業振興による安定した雇用づくり

⑧ 美しい街並みと自然を活かした交流の場づくり

⑨ 小樽・後志における人材還流の仕組みづくり

⑩ 近隣市町村の強みを活かした元気な圏域づくり

施策パッケージ

あずましい暮らしプロジェクト

✓ 交通・住環境・雇用・レジャーなどバランスの良い「あずましい暮らし」を実現する

樽っ子プライド育成プロジェクト

✓ 小樽で生まれ・暮らし・教育を受けることで地元定着を実現する

にぎわい再生プロジェクト

✓ 観光を軸とした地場産業の振興により、にぎわいを取り戻し、雇用創出を実現する

あんしん絆再生プロジェクト

✓ 高齢者や子育て世代が安心して暮らし、活き活きと活動する地域社会を実現する